

平成16年度実績評価 事務事業進行管理表

事務事業名	りんご並木活用プロジェクト				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	
部等名	産業経済部	課等名	産業振興支援室	内線	3510	1	7	1	6	10	99	
政策体系上の位置付け	政策	地域の魅力と快適さを高めるまちづくり					関連計画、条例等					
	施策	中心市街地再生・活性化										
	基本事業											
事業区分	政策的事業	新規、継続区分	継続									
事業期間	H15年度～	H16年度	環境調整会議の必要性	なし								

【D0】(1)この事務事業は、次の目的を達成することを旨とします。

目的の記述	対象 (人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値 (実績・現状)			
	市内に住む全ての人	市民(人)	当初(15)	17年度		
16年度			107000			
		当初(15)	17年度			
		16年度				
目的の記述	意図 (成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値 (実績・目標)			
	りんご並木や周辺資源を活用した様々な市民活動へ参加してもらおう。	活動に参加した事がある人の数(人)	当初実績(15)	最終目標		
16目標			1000	16実績	1500	
		17目標				
		当初実績(15)	最終目標			
		16目標	16実績			
		17目標				

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
		りんご並木50周年を契機に、りんご並木の活用方策を市民が主体的に考え、実行出来るように支援する。	りんご並木活用PJ ・プロジェクト会議の実施 りんご並木のモーニング・ウォーク(11回開催) キャンドルナイト、竹宵(2回) りんご並木にチューリップの植付け	PJ会議の回数(回)
平成17年度に新設する「いいだのまち観光づくり事業」に統合する。				

<金額の単位:千円>		16予算額	16決算額	17予算額
事業費	特定国庫支出金			
	特定県支出金			
	財源起債			
	その他			
	一般財源	900	310	0
事業費計(A)		900	310	0
人件費	正規職員所要時間	500	100	0
	臨時職員等所要時間			
	人件費計(B)	1,760	352	0
	トータルコスト A+B	2,660	662	0

(3)この事業目的の達成は、次の上位(政策や基本事業)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 (この事務事業の上位目的)	上位成果指標(例:施策の成果指標)と単位	上位成果指標の数値	
	りんご並木に新たなにぎわいが生まれる。	りんご並木の歩行者数(交通量調査で把握、人)	16目標	2500
17目標				
		16目標	16実績	
		17目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
「城下町の雰囲気、ふれあいのあるりんご並木に」を目標とした再整備を実施したが、賑わいが創出されていない。	りんご並木の再整備の趣旨が市民に共有されていない。 利用され始めているが、賑わいが生まれるほど活用されていない。 このプロジェクトから、まちなかを歩くモーニング・ウォークが定期開催されている。	りんご並木の交通規制、りんご並木沿いへの商店の立地などにぎわい創出への要望が強い。 平成15年3月に飯田市議会中心市街地総合再生特別委員会懇談会からりんご並木のイメージアップと交通規制についての提案が出されている。

【 See (16年度の事業評価) 】

目的 妥当性 評価	意図の達成が、結果に結びつくか	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果(達成度)を向上させる余地はあるか?	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性は?	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響は?	(評価) 影響なし (その理由)
	意図の見直しの必要性は?	(評価) 必要性がない (その理由)		類似事業の有無と統合の可能性(市以外の取組も含む)	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性は?	(評価) 必要ある (その理由)		効率性評価 成果を下げずに、事業費・人件費の削減は?	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価 受益者は誰か? 負担の是非、程度は妥当か?	(評価) (その理由)	

【 Plan(改革改善案) 】

今後の事業の方向性	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか改革改善案)	改革改善案実施の課題と克服方法
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	17年度に新設する「いいだのまち観光づくり事業」に統合し、まちなか観光で交流人口の拡大を図る。	まちなか観光自体の開発が課題。その克服方法としては、まちの店主やモーニング・ウォークなどに参加している方との連携によるモデルコースの設定と実施(実際に歩いてみる)。